

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 99mTc-HMDP 骨シンチグラフィによる心筋集積を契機とした ATTR 心アミロイドーシス疑い例の抽出』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 教授 原英彦

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、HMDP 骨シンチグラフィ検査の画像を活用して、心臓に異常な集積を示すトランスサイレチン型 (ATTR) 心アミロイドーシスを早期に検出することを目的とした研究に利用します。この病気は、症状が現れる前から心筋にアミロイド蛋白が沈着し、進行すると心不全や脳梗塞など重篤な合併症を引き起こす可能性があります。本研究では、がんの骨転移評価を目的として撮影された HMDP 骨シンチグラフィ画像を活用し、追加の負担なく無症候性の ATTR 心アミロイドーシスを拾い上げることを目指しています。この研究により得られる成果は、骨シンチグラフィ検査から ATTR 心アミロイドーシスを早期に発見し、心不全などの重い病気を未然に防ぐための診断技術の向上や、将来的な予防医療の発展につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 画像データ (HMDP 骨シンチグラフィ、心エコー)、診療録情報 (病歴、採血結果など)

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用予定日】

2025 年 7 月より利用を開始します。

### 【試料・情報の取得方法】

対象者: 2010 年 4 月～2021 年 7 月までに東邦大学医療センター大橋病院において、HMDP 骨シンチグラフィを施行された約 1000 名の前立腺がんの方

方 法: HMDP 骨シンチグラフィから抽出したデータを解析します。

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

研究代表者: 原英彦 役職: 教授

### 【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院単一機関でのみ利用させていただきます。

### 【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科 原英彦

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年9月30日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。尚、患者様ご自身がこの権利を行使できない場合(認知症等で訴えが困難あるいは既に死亡されている等)、代諾者の方(研究対象者の3親等以内の近親者あるいは法的な後見人)が診療情報等を研究することを承諾されない場合も下記までご連絡ください。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 教授 原英彦

電話 03-3468-1251 内線 7122